

## ホスピス財団20周年記念講演会 “あなたらしい最期を迎えるために”



- ◆ 日時:2021年10月2日(土)  
14時~15時30分
- ◆ 場所:ホスピス財団事務所  
(YouTubeによるLIVE配信)
- ◆ LIVE視聴者:103名

### ★講演「ホスピスの魅力」

…ホスピスが世界中に広がった理由を考える

ホスピス財団 理事長 柏木哲夫氏

柏木先生のおよそ半世紀に亘るホスピス・緩和ケアの歩みを振り返りつつ、ホスピスの魅力を12のキーワードから、豊富な実例を示しながら、また、時にはユーモアを交えながら、ホスピスケア、ホスピスマインドを熱く語られました。ホスピスケアとは、誰もが免れることのできない死という現実を、正面から見据える試みであり、最期までその人らしい生を全うするために注がれる暖かいまなざしであると実感できた講演となりました。



#### 死の臨床の魅力

- |         |         |
|---------|---------|
| 1) ドラマ性 | 7) 全人性  |
| 2) 凝縮性  | 8) 創造性  |
| 3) 完結性  | 9) チーム性 |
| 4) 濃密性  | 10) 開放性 |
| 5) 平等性  | 11) 統合性 |
| 6) 双方向性 | 12) 回帰性 |



### ★講演「ホスピス財団の20年を振り返って」

京都大学医学部附属病院 緩和医療科 教授/ホスピス財団 理事 恒藤 暁氏

恒藤先生より、ホスピス財団20年間に亘る多くの事業をカテゴリーごとに簡潔にかつ分かりやすく紹介されました。特に財団が設立時より力を注いでいる国際交流事業では、海外の著名なホスピス・緩和ケア医療従事者延べ17名を招聘し、日本でのホスピス・緩和ケアの発展に大きな寄与できたことが紹介されました。また、調査・研究事業では、国際的にも注目されている「遺族によるホスピス・緩和ケアの質に関する研究 (J-HOPE)」の成果

が紹介され、今後も継続して、さらなるホスピス・緩和ケアの質の向上を目指して事業を遂行したいと語られました。



第5回アジア・太平洋ホスピス大会 2003.3.5-8

大会会長：柏木哲夫  
大阪国際会議場  
『ホスピス・緩和ケアの進展と統合』  
28カ国から1,053名の参加  
第14回アジア太平洋ホスピス緩和ケア大会が2021.11.13-14にONLINE開催

本講演会の録画は、ホスピス財団のホームページで随時閲覧できます。

# ホスピス・緩和ケアボランティア研修会

## ～講演と参加者間の交流～

- ◆ 日時: 2021年8月10日(火) 13:30～16:00
- ◆ 場所: 大阪社会福祉指導センター  
(会場とオンラインを併用して開催)
- ◆ 参加者: 99名(会場 8名、Zoom参加 91名)

**講演** 『癒し人となるために』 宮川裕美子氏  
(財) 日本バプテスト連盟医療団・チャプレン・牧師



チャプレンの誠実な語り口でゆったりと進みました。チャプレンとボランティアは病棟では同じ癒し人であり、患者さんの日常を支え、その方の一日を変える事もある。そしてボランティアスタッフの寄り添いは、まもなく死が訪れる患者さんには喜びである。故に病棟でのボランティアの活動は医療者ではない立場だからこそその必要性を教えてくださいました。患者さんに寄り添う時、感謝・感動・行動・傾聴が大切であること。

決して、懸命に「いい人」にならないこと、ボランティア自身も誰かに癒されないと続かないなどが心に届きました。そして、活動出来ない現状ではあるが「待つ者も務める者である」待つ事の大切さを教わりました。心の中では、いつも患者さんの伴走者で居ようと思いました。とても、実り多い時間を持つことが出来、待つ勇気を持ってました。

全国のボランティアと共に宮川チャプレンに心からの拍手を送らせて戴きました。



### 講演と参加者間の交流に参加して

日本病院ボランティア協会 理事 塚野加代

皆様にコロナ禍第5波の中、お見舞い申し上げます。



私が活動する病院においてもホスピス緩和ケア病棟での活動が休止になり2年目の夏になりました。

全国の病院ボランティアは辛くもどかしい日々を数えています。

その中、『癒し人となるために-癒し、癒される関りに生きる-』日本バプテスト病院チャプレン宮川裕美子氏の講演をお聴きしました。研修会はZoomと会場参加の開催でしたが、全国の病院のボランティア、病院スタッフが多数参加しました。参加者の多さに活動の出来ない中での皆さんの熱い想いを感じました。講演は宮川チ

## 第4回日本Whole Person Care研究会

ホームページにて公開中!

- ★ 日時: 2021年8月7日(土) 13時～17時
- ★ 場所: 富山大学(オンサイト・オンライン同時開催)

ホスピス財団と日本Whole Person Care研究会との共催で、第4回日本Whole Person Care研究会が開催されました。

第1部は富山大学、三原 弘先生による「Whole Person Careの事例研究とマインドフルネスの教育」、第2部は岡山大学、三好智子先生による「Whole Person Careの視点」、第3部は熊本大学、谷口純一先生による「マインドフルネス —エクササイズと瞑想によるマインドフルネス」の講演と参加者を交えたディスカッションが持たれました。

講演の資料と音声録画は日本Whole Person Care研究会のホームページ(ホスピス財団ホームページからリンク)で閲覧できます。



大会長: 三原宏先生



谷口純一先生



#### マインドフルネス

- ・仏教から由来
- ・マインドフルネス(Sati 慧(正念))
- ・禅、ヨガ
- ・瞑想 方法論の1つ



## 近刊紹介

## ホスピスのことを大切にする病院 …新しい医療を目指して

前野 宏 (札幌南徳洲会グループ総長) 著

春陽堂書店 2000円+税 2021年6月刊

書名「ホスピスのことを大切にする病院」に目を留めると、ホスピスのことを大切にする施設、緩和ケア病棟ではなく、病院となっている。(下線: 評者) 本書を読み終えて、このタイトルに納得した。ホスピスのことを大切にするという理念は、区分を問わず全ての病院、診療所に当てはめることができる基本的な理念であると教えられた故である。そして著者は、ホスピスのことを、“弱さにつかえるところ”と定義されている。それは言葉を変えれば、相手を尊重し尊敬するところであり、全ての人間関係の中で最も大切なことを示していると言われる。

本書は、著者の20年に亘る緩和ケア医としての歩みを振り返りつつ、ホスピスのことを三つのH (Hospitality Healing Hope) をキーワードとして具体例を示しつつ解説されている。また、随所に病院スタッフとの対話や、体験談が記され、ホスピスのことの実践には、様々な職種の方々との協働がいかに大切であるかを実感することができた。さらに著者が師と仰ぐ、柏木哲夫氏との対談録が掲載されていることも大きな魅力である。医療従事者に留まらず、多くの方々にお薦めしたい良書である。



## お知らせコーナー

### ●第4回ホスピス財団国際オンラインセミナー

日時: 11月27日 (土)

14時~16時30分

場所: Zoomによる配信

講師: Tom.Hutchinson教授  
(Magill大学医学部)

詳細はホームページで。



### ●ホスピス・緩和ケアフォーラム2021

日本死の臨床研究会第45回  
年次大会の市民公開講座として開催 (WEB開催)

日時: 12月5日 (日)

14時~15時

「死と共存する笑いの世界」

演者: 三遊亭電楽



### ●APHC2021神戸 (第14回アジア・太平洋 ホスピス・緩和ケア大会) がWEBにて開催されます

日時: 11月13日 (土) ~ 14日 (日)



### ●2022年度 調査・研究助成金、募集中

募集要領はホームページをご覧ください。

こんにちは  
ホスピス

## 岩手医科大学 附属病院 緩和ケア病棟の紹介

緩和ケア科 病棟医長 鴻巣 正史

岩手医科大学は「医療人たる前に、誠の人間たれ」を学是として”全人的地域総合医療”を理想に掲げ歩んで参りました。2019年9月の附属病院新築移転を機に、本学の理念を表す一つの形として緩和ケア病棟を新設致しました。最後まで当院における診療を望まれる患者さんやご家族の、あるいは地域の方々の希望に沿うためである事はもちろんですが、医学部・歯学部・看護学部・薬学部の4学部を有する医療系総合大学として、医学を志す若人たちに「生と死をみつめる全人的医療」を深く学ぶ場となることの願いも込めて開設致しました。当院の緩和ケア病棟は、院内病棟型として最上階の10階に25床 (一般病床17、特床8) を有して



病棟スタッフ

おります。現在、常勤医師3名、看護師25名、看護助手1名、医療事務1名のスタッフと院内の多くの方々の支えにより、患者さんお

一人お一人を最期まで支えるホスピス型の病棟運営を行なっています。

最近の緩和ケア病棟運営においては、新型コロナウイルス感染対策のためにご家族との面会やイベント運営などに苦慮する面が多々ありますが、感染対策に工夫を凝らしつつご家族の面会への対応や、病院栄養部など他部署との協働によりイベント開催を継続しております。

今夏は患者さんに少しでも季節を感じて頂けるように七夕飾りのお祭りを開き、患者さんから大変にご好評を頂きました。

開設からようやく2年が経過します。まだまだ駆け出しの緩和ケア病棟ではありますが、患者さんやご家族の思いに応えられるよう、これからも日々、丁寧なケアの実践に勤めていきたいと思っております。



七夕飾り



病院全景

## ホスピス財団 2021年度 事業進捗状況報告

1. ホスピス・緩和ケアに関する調査研究事業（公募）…進行中
2. 遺族によるホスピス・緩和ケアの質の評価に関する調査研究事業（第5次調査・2年目）…進行中
3. 『ホスピス・緩和ケア白書 2022』…進行中
4. 救急・集中治療における緩和ケアの推進…進行中
5. ホスピス・緩和ケアボランティア研修セミナー開催事業  
日時：2021年8月10日（火）13時30分～16時 場所：大阪社会福祉指導センター（Zoomとの併用） 講師：宮川裕美子氏
6. Whole Person Careワークショップ開催事業…新型コロナウイルスのため中止
7. 『MD Aware：A Mindful Medical Practice Course Guide』翻訳事業…進行中
8. 日本Whole Person Care研究会開催事業  
第4回 日時：2021年8月7日（土）13：30～16：30  
場所：富山大学（Zoomとの併用）  
第5回予定 日時：2022年3月 場所：京都大学
9. 「ともいき京都」におけるがん体験者・市民主体のプログラム創生事業…WEBを活用して進行中
10. 緩和ケア・支持療法領域に関わる医療従事者を対象とした意思決定支援に関する研修セミナーの開催…新型コロナウイルスのため中止
11. ホスピス・緩和ケアフォーラム開催事業  
実施予定日：2021年12月 日本死の臨床研究会年次大会での市民公開講座として開催予定（WEB開催）
12. 一般広報活動事業
13. 『これからのとき』『旅立ちのとき』冊子増刷
14. ホスピス財団20周年記念講演会  
実施日：2021年10月2日（土）14時～15時30分  
場所：ホスピス財団事務所
15. 第4回国際Whole Person Care学会参加  
実施日：2021年10月  
場所：カナダMagill大学（WEB開催）22日-23日
16. ホスピス財団 第4回 オンライン国際セミナー開催事業  
実施予定日：2021年11月27日（土）14時～16時30分  
場所：ZoomシステムによるWEB開催
17. APHN関連事業：第14回APHC神戸大会を支援
18. 日本・韓国・台湾・香港・シンガポール 第3期共同研究事業（3年計画の3年目）…進行中

## ホスピス財団 2020年度(第21期)決算の概要

2020年4月1日から2021年3月31日まで(単位：千円)

科 目	2020年度決算
<b>【経常収益】</b>	
①基本財産運用益	3,241
②受取寄付金	17,165
（内訳） 賛助会費収入	17,075
一般寄付金収入	90
③雑収益等	1,249
<b>経常収益計（A）</b>	<b>21,655</b>
<b>【経常費用】</b>	
①事業運営費	22,521
（内訳） ホスピス・緩和ケアに関する調査・研究事業	8,527
ホスピス・緩和ケア従事者に関する教育事業	5,888
ホスピス・緩和ケアに関する広報事業	4,406
ホスピス・緩和ケアに関する国際交流事業	3,700
②一般管理費	4,925
<b>経常費用計（B）</b>	<b>27,446</b>
<b>当期経常増減額（A－B）</b>	<b>▲5,791</b>

## 寄付者一覧（2021年3月～2021年8月 順不同、敬称略）

（団体）

株式会社 青海社、医療法人社団シャローム シャローム病院

（個人）

竹下淳也、河合智矢、橋川正利、幸地竜希、北川勝治  
田嶋聖樹、ダイモンワタル

## 新規賛助会員（2021年3月～2021年8月 順不同、敬称略）

（団体）

トータス往診クリニック

公益財団法人 筑波メディカルセンター

医療法人 聖恵会 福岡聖恵病院、藤田医科大学 七栗記念病院

（個人）

松本善實、國分淳平、渡辺義昭、佐藤眞一、渡邊美和  
山本瀬奈、長田明、内田恵、山本百合、小濱智代子、荻野行正  
石田京子、西出美美、北川敦子、友利健彦、高橋通規  
益田律子、松垣裕明、佐藤哲観、小野寺馨、菅野雄介  
小島啓子、松本篤、青山真帆、松村千佳子、越村裕美、中島豪  
佐治裕、小林孝一郎、濱口明彦、荒瀬友子、山代亜紀子  
譜久山仁、矢内愛子、加藤恭郎、谷山洋三、高尾鮎美  
木村祐輔、青木美和、林美枝子、秋山博実、石川千夏  
上出幸代、早川晶、柴田冬樹、中村陽一、佐々木美奈子  
江藤美和子、太田里美、小俣和穂、荒尾晴恵、笹本肇、所昭宏  
山口高志、内田智夫、山田豊、株本千鶴、深尾友美子  
大金ひろみ、首藤真理子、橋本淳、小川昌代、伊東美紀  
前滝栄子、宮澤照子、田村恵子、今田祐子、匿名2名

## 寄付・賛助会員のお礼とお願い

この度は多くの方々からのご支援を心よりお礼申し上げます。引き続きよろしくご支援申し上げます。

## 編集後記

本年、児童文学として世界中に知られているヨハンナ・シュピリ「アルプスの少女ハイジ」の新しい完訳が、松永美穂訳（角川文庫）と遠山明子訳（光文社古典新訳文庫）として出版された。自粛警察、店舗へのいやがらせなど、コロナ禍によって私たちの心が、ぎすぎすした、不安に満ちた感情を抱く中において、本書は児童文学の域にとどまらず、私たちが忘れがちな、“おたがいさま”の心を教えているように感じた。少女ハイジと、足の悪いクララへの交流は、相手を思いやる心であり、コロナ時代に置き換えれば、コロナの罹患、明日は我が身であるかも知れないのである。“おたがいさま”それは、私たちのホスピス緩和ケアの領域においても相通ずるものではないだろうか。

（編集子）



幸福の谷（軽井沢）